

地域課題・目指す将来像

地域課題

- 運転士不足を要因とするバス路線の統廃合が見込まれ、既存バス路線の代替が必要
- 生産年齢人口の減少により、消費の低迷や労働力不足等の地域経済の縮小が懸念される

将来像

- 既存バス路線の代替と運転士不足の解消を図り、地域の足を確保する
- 住み続けたい「選ばれるまち」を実現するとともに、移住定住を促進し、地域経済を活性化する

推進体制（想定）

名称：相模原市未来技術地域実装協議会

地方公共団体	相模原市、神奈川県
国（★は現地支援責任者）	国土交通省（★関東地方整備局、関東運輸局）、警察庁（交通局）、内閣官房（地域未来戦略本部事務局）
民間事業者	交通事業者、自動運転システム開発企業、金融機関他
その他	業界団体

課題解決に向けた取組

① 自動運転バス【自動運転】

- ・ 相模原駅から令和6年度に全面供用が開始された「相模原スポーツ・レクリエーションパーク」まで直通するルートで、子育て世代や子どもたちの安全な移動を実現するために選定。
- ・ 全区間において歩者分離されており早期レベル4自動運転の実装可能なルートであり、将来的に既存バス路線において早期レベル4自動運転の実現に向けて取り組む。



- ・ 運行日：土・日曜日、祝休日
- ・ 運行時間：10時～16時の間に30分間隔で運行
- ・ 運行期間：1ヵ月（予定：下半期）
- ・ 運賃：1乗車 100円
※ただし、中学生以下の利用者及びその同伴者は無料
同条件を町田市民にも適用

運行ルート

- ① 相模原駅北口 ② 小山公民館前
③ 相模原スポーツ・レクリエーションパーク前 ④ 宮下本町